

IP-USERS パネル

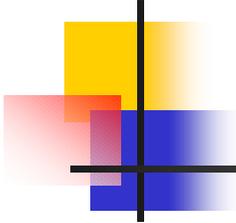
IPアドレス割り振り・割り当てを考える

2000. 12. 20

パネルチェア—

荻野 司

JPNIC



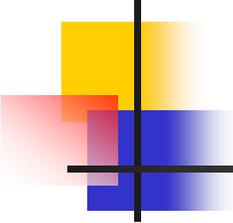
パネリスト

■ パネリスト

- 荒野高志 (ASO-AC Vice-chair / NTTコミュニケーションズ)
- 前村昌紀 (APNIC-EC・IP-WG主査 / グローバルワン)
- 石田慶樹 (メディアエクスチェンジ)
- 益田恵太郎 (NTTコミュニケーションズ)

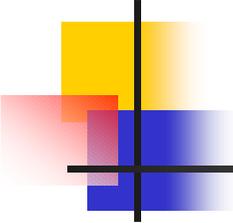
■ チェア—

- 荻野 司 (IPアドレス担当理事 / インターネット総合研究所)



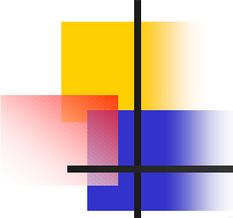
背景

- インターネットの急速な普及、発展
 - ー>インターネット適用が拡大ー>ユーザの拡大
- IPアドレス、割り振り、割り当てが最近、かなり厳しくなっている
 - ー>有限なアドレス空間を効率的に使用しようー>延命？
 - ー>V4アドレス空間の節約



最近の動向

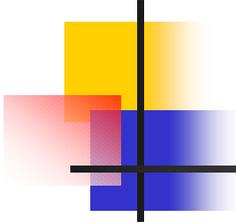
- 新技術、新サービスの出現
 - CATVネットワーク、ADSLサービス(常時接続型サービスへ)
 - モバイルネットワーク
 - バーチャルホスティング
- ポリシー
 - 適正に割り当てよう！ → “Justify”
 - 割り当て基準を均一にしよう → “Consistency”



議論

- 新技術、サービスに対応したアドレス割り当てポリシーは？
- APNIC<->JPNIC<->LIR(ISP)<->USER間における均一な割り当てポリシーの共有
- 拡大するエンドユーザの要求を満たす事と適正な割り当て方針とのギャップ

- 「割り振り、割り当てガイドラインの必要性」
- 「ボトムアップのできる仕組みの検討」



パネル内容

- パネリストによるショートプレゼンテーション
 - 国際的な現状について 荒野
 - APNIC/JPNIC の現状について 前村
 - LIR/ISPの現状について 石田
 - エンドユーザの現状について 益田
- フリーディスカッション
- まとめ